

“特集 町の誇り”では佐呂間の誇れる産業を紹介していきます。今回は、ブランド化に成功した養豚業。努力から生まれた“うまい”豚肉を紹介します。

わずか4戸の養豚家がブランド化した“サロマ豚”は、牛肉志向の強い関西に北海道佐呂間の豚肉として新風を巻き起こした。“選ばれる”ために努力を続ける生産者の話はこの肉ならと思わせる。



# 佐呂間に “うまい豚肉” がある

関西で肉といえば牛肉。様々な有名ブランド牛の産地も多い。その関西で関西人の舌を喜ばせている豚肉がある。

その豚は九州の黒豚でも沖縄の島豚でもなく、北海道佐呂間町産のサロマ豚。

京都に本社を構える老舗の有名精肉店では、その味、品質、安全性に惚れ込み、仕入れを決めた。また、滋賀県のあるレストランでは、「こだわりの銘柄豚はサロマ豚でおすすめ。」と話す。

クセも無く、あっさりとしているのに豚肉本来の旨みはしっかりとある。だから、トンカツやステーキなど食卓の主役としても、カレーや肉じゃがに入れても主張する味わいがあるのに邪魔をしない。北海道の豚肉という、関西に新しい風を起こしたサロマ豚。生産者のひとり平戸鉄也さんを訪ねた。

**安全なものを安心して  
食べてもらいたい**

畜産業の中でも養豚は特に衛生管理

には厳しい。平戸さんの豚舎に入るときも、きれいな外来者用の長靴に履き替え、更に消毒槽に入つた。徹底した衛生管理は、安全な豚肉を出荷するために必要不可欠だ。豚舎の中に入ると、気になる匂いはほとんど無く、清潔で明るい。舎内の温度も適温に保たれ、どの豚も各々好きな場所にいて綺麗な体をしているため、豚にストレスがないことがすぐにわかった。豚は綺麗好きだが、暑いと泥や糞を体につけ、その水分蒸発を利用して体を冷やし、寒いと一箇所に固まり温めあう。また、強いストレスがかかると周囲の豚と噛み合つたりするため体が傷だらけになるからだ。

「ストレスを与えないことで、発育も良く、健康な豚に育ちます。だから抗生物質とか薬はゼロとは言いませんが、ゼロに限りなく近いぐらい使いません。」

極力抗生物質などを使わないのは、消費者からすると当たり前に感じるか

### ※1 ポジティブリスト

農薬、飼料添加物及び動物用医薬品などの残留基準を定めたもの。基準値以上のものは販売規制となる。畜産においては、医薬品等の使用履歴を作成し保存しなければならないなどの対応が求められる。

### ※2 H A C C P (ハサップ)

生産現場から、消費者へ一貫した衛生管理による安全な生産物の供給を目的とした、衛生管理の認証制度。国際的な基準である I S O 22000 は H A C C P と I S O 9001 の融合システムでポジティブリストも含め、徹底した衛生管理から飼養方法など様々な記録と保存、改善を行わなければならない。

衛生管理が徹底された繁殖舎。糞尿は床の穴から下のピットに落ち、機械で舍外の堆肥舎に運ばれる。糞は堆肥に尿は浄化槽で処理される。堆肥は平戸さんの畑で利用される。



肥育舎の豚。どの豚も綺麗な体をしている。カメラに向けると驚いて逃げてしまったが、しばらくすると好奇心から、様子を伺いながら寄ってきた。



給餌や、清掃などの仕事が終わると、その日の作業や、豚の様子などを記録する。その他にも、独自に行う生産検討会での資料づくりなど事務的な仕事も数多い。



高度な技術が必要な人工授精。サロマ豚のほとんどが人工授精で種付けされる。種雄から精子を採取し、希釀したものを使用する。母豚、種雄豚の負担を軽減できるメリットがある。

も知れないが、飼養する側からは大変難しく手間がかかる。人間も風邪をひくし怪我もする。それを限りなくゼロにするため、気配り、目配りが欠かせない。しかし、その手間にかかる時間や労力は決して惜しまず、安全で安心できる豚肉を食べてもらいたいと平戸さんは言う。

「サロマ豚の生産者は私も含めて4戸しかありませんが、美味しい安全な肉を生産するため、どの生産者も同じくストレスを与える、抗生物質をほとんど使用していません。他にも、各自で生産性向上のため第三者にコンサルタントを依頼し、独自に生産検討会を行っています。養豚部会ではその情報を交換して飼養管理に役

立っています。」

また、全生産者が<sup>1</sup>ポジティブリストはもちろん<sup>2</sup> H A C C P 手法による飼養管理にも取組み、安全性の向上に努力している。

### “豚の持つている “能力”を引き出す

サロマ豚は繁殖能力の高い“ランドレース種”と、肉質の良い“大ヨークシャー種”を掛け合わせた雌に、霜降りになりやすい、柔らかいがシマリのある肉質が特徴の“デュロツク種”的雄をかけた三元交配の豚を、ビタミン・ミネラル・食物纖維の豊富な“アルガ”という海藻を粉末にした物を1～2%

添加した飼料で大切に育てられる。

「血統や、飼料は正直今の養豚では一般的なもので、あまり特別なものはありません。それでも肉質では他の肉に負けない自信があります。結局は飼養管理で、いかに豚の持つている能力を引き出すかが重要だと思つています。」

事実、サロマ豚の肉質の良さはすでに実証されている。豚肉は、肉のキメ細かさ、シマリ、色などの厳しい審査を受けて極上・上・中・並・等外の5つに格付けされ、その格付けによって価格も変わってくる。この格付けで競う北海道枝肉共励会ではH21～22年と連続して団体優秀賞一席をとっている。それだけではなく、サロマ豚生産者は



今年度4月から給食でも使用されているサロマ豚。この日の献立はサロマ豚の焼肉丼。児童たちは美味しそうに頬張っていた。この日は仁倉のサロマ in New フームの new 豆腐も出された地産地消メニュー。



奥さんの友紀さんと二人三脚で営む。写真は取材当日生まれたばかりの仔豚の体重測定。体重は1,200～1,400g。約半年で出荷され、出荷時には120kg前後となる。

各共励会や、年間の上物率を競うコンクールにおいて毎年上位入賞の常連ばかりだ。その時期だけ肉質を上げることは不可能なため、當時安定して良質の豚肉を生産していることが認められたと言える。

「生産者同士で共通して目指しているのは、『消費者に選ばれる豚肉』です。これからTPPの問題もありますし、今でも海外の安い豚肉が多く売られています。少し値段は高くなりますが、肉の美味しさや安全性では他の国産にも負けていません。一步進んだ国産豚肉になるよう今できる最善の努力をしています。」

先述したようにその味と安全性によつて、サロマ豚を扱いたいという要望はあるが、サロマ豚の生産者の規模は、現在の他の養豚場と比べるとかなりの小規模に含まれる。それは、管理の行き届く範囲の規模でしか常に上質の豚肉を出荷することは難しいからだ。徹底した管理で納得のいくものしか出荷しない。ここにもサロマ豚の肉質へのこだわりが感じられる。

## 消費者に“選ばれる”ために 最善を尽くして

関西ではすでに評価を得ているサロマ豚だが、北海道や地元佐呂間では正

直まだ知らない、知つても食べたことが無い人が多い。

「地元での消費を増やしたいのも生産者たちでは一致しています。今年から学校給食の豚肉にサロマ豚を使つてもらつていますが、町内の飲食店でも多く使つてもらえるようになります。」

これがこれからの課題ですね。そして、もっと知つてもらうことも必要です。サロマ豚は佐呂間産や北海道産の野菜と一緒に食べるのが一番“うまい”です。とにかく一度食べてから豚肉は何を食べるか“選んで”欲しいですね。」

佐呂間の“うまい”ものといえば誰もがホタテなど海産か南瓜と答えるのではないだろうか。そこにもう一つサロマ豚を入れるのか“選ぶ”のは食べた消費者だ。ただ、取材を通して実感したのは、20年ほど前まで約60戸あった豚飼養戸数は現在5戸。サロマ豚生産戸数としてはわずかに4戸。その少ない戸数でも、地元の安全で美味しい豚肉を食べてもらうために最善を尽くしている農家が佐呂間にいるということ。

生産者は絶え間ない努力を今日も続ける。“選ばれる”ために。

※次回の特集は酪農業の予定です。これからも町の誇れる各産業を紹介していくます。

### サロマ豚生産者受賞歴（平成21年度以降）

- ◆北海道枝肉共励会 肉豚の部
  - 平成21・22年 団体 優秀賞1席
  - 平成22年 個人 優秀賞
- ◆北見管内豚枝肉共励会（個人）
  - 平成21～23年 最優秀賞
- ◆北見管内枝肉コンクール（個人）
  - 平成21年 最優秀賞
  - 平成22年 優秀賞

※サロマ豚の販売先については、下記までお問い合わせください。

- ◆佐呂間町農業協同組合
  - 畜産部畜産販売課
  - Tel 01587・2・3344



### 平戸農場

母豚92頭 種雄豚4頭  
肥育豚1,410豚

### 山内農場

母豚100頭 種雄豚4頭  
肥育豚1,430豚

### 柳原農場

母豚105頭 種雄豚5頭  
肥育豚1,460豚

### 小西農場

母豚95頭 種雄豚3頭  
肥育豚1,410豚

サロマ豚生産者の皆さん。左から平戸さん、山内さん、柳原さん、小西さん。サロマ豚のPRのためと、皆さんのが取材に協力してくれました。持っているのは販売先でのポップ。

# Town Topics

## まちの話題

話題・出来事など皆さんからの  
情報をお待ちしています。  
町民課・住民活動係  
Tel 2・1213

### みどりあふれるまちへ 『平成23年度植樹祭』



(株)ニトリの「北海道応援基金」の助成を受け、6月7日富武士牧場跡地で植樹祭が行われました。今年は、佐呂間漁業協同組合、網走中部森林管理署、佐呂間町森林組合などから105名が参加し、ミズナラ・エゾヤマザクラ・クルミの木の苗1,210本を植樹しました。例年町民参加のもと「森と湖のまちづくり」を目指して実施されています。作業後は、佐呂間漁協婦人部からおいしいホタテの稚貝汁が振舞われました。

### 建設業協会・サロマ湖育桜会 『桜の木植樹』



6月11日、建設業協会とサロマ湖育桜会の皆さんが、道の駅サロマ湖のバーベキューハウス前にて桜の植樹を行いました。佐呂間に桜の名所をと、今年結成された育桜会の皆さんは、「桜で佐呂間をもっと元気にしたい。」と約40本の桜を植樹しました。

“わいわい栄春まつり”



6月12日、わいわい栄春まつりが開催され、子どもから大人までが人間ばん馬などを行い大いに盛り上りました。



### ◎姉妹都市から海を越えて 『パーマ市から震災義援金』

6月17日、パーマ市からの交換留学生が町役場を表敬訪問しました。留学生の皆さんには、3月11日に起きた東日本大震災の復興にと、遠くアラスカ、パーマ市で募った義援金、日本円にして約90万円を代表して届けてくれました。6人の留学生たちは、率先して募金活動に励み、多くの義援金を集めてくれました。届けられた義援金は、町から日赤を通じて被災者へと送られます。

美しい湖をいつまでも  
『サロマ湖ゴミ運動』



サロマ湖養殖漁業協同組合主催による、サロマ湖ゴミ運動が6月18日に実施されました。組合員や、町民230名が参加し、キムアネップ岬から若里までの湖岸沿いを、美しいゴミの無いサロマ湖を目指し作業しました。この運動は、湖岸周辺の環境保全を目的に毎年実施されています。



町民に役立つ情報を  
町内情報掲示板設置

佐呂間町商工会が、佐呂間コミセンロビーに、町内の求人情報や住宅関連情報の掲示板を設置しました。ぜひ、お立ち寄りください。

# 第26回サロマ湖100km ウルトラマラソン



浜佐呂間小学校・保育所 6/19



若佐小学校・保育所 6/5



佐呂間小学校 6/5



佐呂間中学校 5/30



運動会



やっと、気温が高くなってきましたね。外遊びや水遊びが、楽しい季節になりました。2歳児クラスの『あそびの広場』では、暖かい日は公園での遊具遊びや水遊びなど、外での活動を行います。お子さんもお母さんも、外遊びの用意をお願いします。



みんなで外遊び♪

## パパママたまご教室

今回は、妊婦を対象に【妊娠中の過ごし方体験談】を行います。対象者には案内ハガキを送ります。

◎日 程 7月13日（水）10時～11時30分

\*参加される方は7月11日までに申し込んでください。

## あいあいらんど

2回目の『あいあいらんど』は、パフファミリーによるコンサートです。みんなで歌って、踊って楽しい時間を過ごしましょう。

◎日 時 7月21日（木）9時45分～10時45分

場 所 佐呂間保育所 おゆうぎ室

(申し込みの必要はありません。時間までに来てください。)

\*支援センターは自由開放日です。授乳・オムツ替えなどご利用できます。コンサートをご覧にならない方も、遊びに来てください。

## 8月の事業紹介

☆赤ちゃん相談（8月4日）

身長体重の計測と保健師・栄養士が来所し、子育てについての相談ができます。お気軽にご利用ください。

☆お話し あいあい（8月24日）

0・1歳児の保護者を対象に、【救急処置法について】のお話です。

## みんなで話し合い、悩みを解決！！

6月8日『トイレトレーニング』をテーマに、お母さんたちの情報交換『おしゃべりあいあい』を行いました。これからトイレトレーニングを…と考えているお母さんや、トレーニングを終えたお母さんが集まり、「トレーニング開始時期は？」「トイレに行きたがらない。」「トレーニングパンツは必要？」などの質問に、「トイレトレーニングは、子どもとお母さんの気持ちが大切。始める前に絵本を使って、イメージするのも良い。」「無理をして、子どもがトイレ嫌いにならないように。」など、先輩お母さんからアドバイスがありました。子どもたちを遊ばせながら、和気あいあいとした中で話し合いができました。

## 子育て自由相談日

今回の『子育て自由相談日』は、管理栄養士が来所します。妊娠期・出産後の健康状態や、お子さんの発育の様子や離乳食・幼児食について…。お気軽にご相談ください。

◎日 程 7月14日（木）10時～11時30分

## お話し あいあい

幼児期はことばを身につける大切な時期です。親や周りの大人のかかわりでことばが育ち、コミュニケーションの力が身につきます。今回は遠軽町母子通園センター職員による、【ことばを育むかかわり方】のお話と、親子ふれあい遊びを行います。年齢制限はありません。

◎日 程 7月28日（木）10時30分～11時30分

\*参加される方は7月25日までに申し込んでください。



\*上記の活動は、《サロマゲンキマイレージ》の対象です。各事業に参加される方は、ポイントカードをご持ください。

\*子育てに関する事業は、健康カレンダーに記載していますのでご確認ください。